

活動事例紹介

下野郷集落資源保全隊（岩沼市）

地区概要	取組面積：115.7ha（田 80.5ha、畑 35.2ha） 資源量：開水路 29.8km パイプライン 0.0km 農道 8.4km ため池 0 箇所
平成 27 年度交付金	農地維持支払交付金 1,762 千円 資源向上支払（共同活動）交付金 1,231 千円 資源向上支払（施設の長寿命化）交付金 - 千円
地域の概要	本地区は岩沼市の東部に位置し、東日本大震災の時には農地の 9.5%が津波被害を受けましたが、県営圃場整備事業により大規模圃場に整備され作付けが再開されている水田地帯です。
取組みの概要	本会は、下野郷上・下野郷下の 2 行政区 200 名の構成員で、農地および農業用施設の保全活動を行っています。 農地維持活動では、施設の点検、側溝・排水路の泥上げ、農道・水路法面の草刈り、農道の敷砂利、資源向上（共同）活動の施設の軽微な補修では、機能診断、農道・小水路の補修などを実施しています。 また、資源向上（共同）活動の農村環境保全活動では、農地・水路・農道のゴミ拾い、環境保全草刈り、農地等を利用した花壇を設置し、PTA・子ども会・町内会婦人部等の協力で植栽活動を実施しています。
課題	本地域では、高齢者世帯の増加傾向、いわゆる空き家の増加がみられるようになり、共同作業参加者も年々高齢化しており再検討が必要な作業も出てきました。 大規模圃場整備により担い手農家への集約化が進行しましたが、担い手農家だけでは農地の保全は難しくなっており、委託農家や非農家の参加・協力を促す努力が求められています。
その他	一部大型圃場整備除外区域があり、10アール区画・狭い農道・土側溝と非効率な状態でしたが、平成 27 年度に拡充された施設の長寿命化に取り組める運用を活用し（※）、中古の U 字フリューム管を貰い受け、構成員の土木建築経験者の指導のもと直営施工で水路や農道の補修工事を実施しています。 ※平成 27 年度より、農地維持及び資源向上（共同）の活動として、交付金の 3 割以内で「施設の長寿命化のための活動」に取り組むことができるようになりましたが、取り組む場合は市町村の認定手続きが必要となりますので、必ず市町村担当課へご相談ください。



土側溝に U 字フリューム管を敷設



竹の内ガーデン
草取り



水路の草刈り



水路の泥上げ



桜ガーデン植栽